

木津無庵 きつじ むあん 宗教教育家。慶應二年二月十八日越前國生れ。昭和十
 八年九月十一日歿（二六七一—一九四二）。本名祐精、幼名常丸。明治二二二
 年佛陀會を興し家庭布教に當る。四十二年名古屋誠明學會を設立、大正
 六年若松幼稚園開園、九年東京誠明學會を設立、同年佛敎協會を創設し
 理事長就任。爾後農村救済、社會教化に從事。宗教教育普及會會長。
 著書に『維摩經講纂』（大正二年二月十日愛知・佛陀會）、『全國師
 範巡講誌』（編、昭和二年九月一日愛知・破産閣書房）、『宗教教育
 の就く』（吉田賢龍合著・全國師範巡講誌編、昭和五年十一月十日愛
 知・破産閣書房）、『皇國の神と宗教』（昭和十五年二月十日破産閣
 書房）、『廣釋「皇國の神と宗教」』（昭和十六年六月十七日破産閣
 書房）、『皇國の「かみ」と佛敎徒の信念』（昭和十六年七月、二十五
 日京都・文化時報社出版部「佛敎新體制叢書」）、『大東亞聖戰感懷』（
 昭和十九年九月十一日京都・大雅堂）等。

